

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
 (仮称)長岡京市船田4丁目PJ

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.01)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数
<b>Q 建築物の環境品質</b>					<b>2.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>		<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	<b>1.00</b>	<b>3.1</b>	<b>1.00</b>
1.1 室内騒音レベル	-	3.0	0.50	3.0	0.50
1.2 遮音		3.0	0.50	3.2	0.50
1 開口部遮音性能	-	3.0	1.00	3.0	0.30
2 界壁遮音性能	-	-	-	3.0	0.30
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	遮音性能LL45	-	-	4.0	0.20
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	-	-	-	3.0	0.20
1.3 吸音	-	-	-	-	-
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.6</b>	<b>0.35</b>	<b>2.7</b>	<b>1.00</b>
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.3	0.50
1 室温	住戸:等級4	3.0	0.63	3.0	0.63
2 外皮性能	-	3.0	0.38	4.0	0.38
3 ソーン別制御性	-	-	-	-	-
2.2 湿度制御	-	1.0	0.20	1.0	0.20
2.3 空調方式	-	3.0	0.30	3.0	0.30
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.8</b>	<b>0.25</b>	<b>3.6</b>	<b>1.00</b>
3.1 昼光利用		2.4	0.30	4.0	0.30
1 昼光率	住戸:昼光率2.5%以上	2.0	0.60	5.0	0.50
2 方位別開口	-	-	-	3.0	0.30
3 昼光利用設備	-	3.0	0.40	3.0	0.20
3.2 グレア対策		3.0	0.30	4.0	0.30
1 昼光制御	各住戸バルコニーカーテンレールの組合せ	3.0	1.00	4.0	1.00
3.3 照度	-	3.0	0.15	3.0	0.15
3.4 照明制御	-	3.0	0.25	3.0	0.25
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.6</b>	<b>0.25</b>	<b>3.8</b>	<b>1.00</b>
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63
1 化学汚染物質	70%以上にF☆☆☆☆を採用	4.0	1.00	4.0	1.00
4.2 換気		3.0	0.40	3.6	0.38
1 換気量	-	3.0	0.50	3.0	0.33
2 自然換気性能	居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保	-	-	5.0	0.33
3 取り入れ外気への配慮	-	3.0	0.50	3.0	0.33
4.3 運用管理		-	-	-	-
1 CO <sub>2</sub> の監視	-	-	-	-	-
2 喫煙の制御	-	-	-	-	-
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>		<b>2.8</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.9</b>	<b>0.40</b>	<b>2.6</b>	<b>1.00</b>
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	3.0	0.60
1 広さ・収納性	-	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応	-	-	-	3.0	1.00
3 バリアフリー計画	バリアフリー新法の最低限のレベルを満たしている	4.0	1.00	-	-
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40
1 広さ感・景観	-	-	-	3.0	0.50
2 リフレッシュスペース	-	-	-	-	-
3 内装計画	-	1.0	1.00	1.0	0.50
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-
1 維持管理に配慮した設計	内壁・床面は防汚性の高い建材を採用	4.0	0.50	-	-
2 維持管理用機能の確保	-	3.0	0.50	-	-
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.7</b>	<b>0.30</b>	<b>-</b>	<b>2.7</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	-	3.0	0.60	-	-
2 免震・制震・制振性能	-	3.0	0.20	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-
1 躯体材料の耐用年数	-	3.0	0.20	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	-	2.0	0.20	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	-	3.0	0.10	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	-	3.0	0.10	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	上位3種の2種類以上にB以上を使用、Eは不使用	5.0	0.20	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔	-	2.0	0.20	-	-
2.4 信頼性		1.8	0.20	-	-
1 空調・換気設備	-	3.0	0.20	-	-
2 給排水・衛生設備	-	1.0	0.20	-	-
3 電気設備	-	1.0	0.20	-	-
4 機械・配管支持方法	-	3.0	0.20	-	-
5 通信・情報設備	-	1.0	0.20	-	-

3	対応性・更新性		3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
	3.1 空間のゆとり				3.2	0.50	
	1 階高のゆとり	階高2.9m以上	-	-	4.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ	-	-	-	2.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり	-	-	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.1
1	生物環境の保全と創出	-	2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	2.0	0.40	-	-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮	-	2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	2.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性						3.1
LR1	エネルギー			0.40			3.4
1	建物外皮の熱負荷抑制	等級4相当	4.0	0.20	-	-	4.0
2	自然エネルギー利用	-	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEI=0.96	3.4	0.50	-	-	3.4
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価						
	4.1 モニタリング	-	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-	
	集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-	
LR2	資源・マテリアル			0.30			3.0
1	水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水	-	3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	-	3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.1	0.60	-	-	3.1
	2.1 材料使用量の削減	-	2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	断熱材、ビニル床シート	4.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み	-	3.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
	1 消火剤	-	2.0	0.33	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつGWP=50未満の断熱材を使用	4.0	0.33	-	-	
	3 冷媒	-	3.0	0.33	-	-	
LR3	敷地外環境			0.30			3.0
1	地球温暖化への配慮	-	3.0	0.33	-	-	3.0
2	地域環境への配慮		2.8	0.33	-	-	2.8
	2.1 大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	1.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音	-	3.0	0.33	-	-	
	2 振動	-	3.0	0.33	-	-	
	3 悪臭	-	3.0	0.33	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	
	3 日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告照明の設置なし	5.0	0.70	-	-	
	2 昼光の建物外壁による反射光( glare )への対策	-	3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2016年版

(仮称)長岡京市開田4丁目PJ

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
<b>Q2 サービス性能</b>															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	6.0		○	○	○	-	○	-	-	-	-	○	○	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	6.0		-	○	○	-	○	-	-	○	-	○	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>															
1 生物資源の保全と創出	5.0		-	-	2.0	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	2.0		1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	10.0		2.0	2.0	-	2.0	-	-	-	2.0	2.0	-	-	-	-
<b>LR1 エネルギー</b>															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>															
2.2 温熱環境悪化の改善	8.0		1.0	1.0	-	-	2.0	-	-	1.0	3.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標		窓システムSC		窓の日射熱取得率(η)	
Q1 室内環境		U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁
2.1.3 外皮性能		住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	η AC
		床			η AH
3.1.1 昼光率		昼光率	2.6%		
4.2.2 自然換気性能		自然換気有効開口面積率	7.9%		
Q2 サービス性能		執務スペース	.0㎡ /人	病床	.0㎡ /床
1.1.1 広さ・収納性		コンセント容量	0.0 VA /㎡	シングル	.0㎡ ツイン
1.1.2 高度情報通信設備対応		天井高	2.45 m		.0㎡
1.2.1 広さ感・景観		リフレッシュスペース	0.0%	レストスペース	0.0%
1.2.2 リフレッシュスペース		想定耐用年数	0 年		
2.2.1 躯体材料の耐用年数		想定必要間隔	0 年		
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		想定必要間隔	0 年		
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		想定必要間隔	0 年		
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		階高	2.81 m		
3.1.1 階高のゆとり		壁長さ比率	68.7%		
3.1.2 空間の形状・自由さ		床荷重	- N/m2		
3.2 荷重のゆとり		外構緑化指数	25%	建物緑化指数	0%
Q3 室外環境(敷地内)		空地率	20%	水平投影面積率	8%
1 生物資源の保全と創出		地表面对策面積率	22%	舗装面積率	0%
3.2 敷地内温熱環境の向上		BPI/BPI <sub>m</sub>	-	断熱等性能等級	等級4 相当
LR1 エネルギー		自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	0.0%
1 建物外皮の熱負荷抑制				透風を満たす教室数	0.0%
2 自然エネルギー利用		BPI/BPI <sub>m</sub>	非住宅	住宅	0.66
3 設備システムの高効率化				太陽光	.0kW
LR2 資源・マテリアル				太陽熱等	.0kW
1.2.1 雨水利用システム導入の有無		雨水利用率	0.0%	蓄電池	.0kW
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		特定調達品目	断熱材	エコマーク商品	ビニル床シート
2.5 持続可能な森林から産出された木材		使用比率	0.0%	自治体指定の特定品目等	-
3.2.1 消火剤		オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)	
3.2.2 発泡剤(断熱材等)		オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	3
3.2.3 冷媒		オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)	
LR3 敷地外環境		見付面積比	37%	隣棟間隔指標Rw	0.15
2.2 温熱環境悪化の改善		地表面对策面積率	35.0%	屋根面对策面積率	0.0%
		見付面積S <sub>b</sub>	73㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅W <sub>e</sub>	49.99 m
		緑地	159㎡	基準高さH <sub>b</sub>	38.99 m
		水面	㎡	保水性対策面	㎡
				高反射対策面	㎡
				再帰性反射対策面	㎡